

第15回(令和6年度第1回)東京女子医科大学病院医療安全監査 議事要録

日時 : 2024(令和6)年8月21日(水) 14:00~15:50

場所 : 総合外来センター5階大会議室 (Host: 東京女子医科大学病院)

監査委員:(敬称略)

委員長 小川 秀興 (学校法人 順天堂 理事長) (A)
委員 小林 弘幸 (順天堂大学 大学院医学研究科病院管理学 教授) (A)
委員 小海 正勝 (本学顧問弁護士(医療分野専門)、高田・小海法律事務所) (B)
委員 浜田 健一郎 (本学理事、一般社団法人 北前船交流拡大機構 理事長) (C)
委員 中村 芳夫 (日本心臓財団代表理事) (C)
委員 坂東 真理子 (学校法人 昭和女子大学 総長) (C)
委員 岩田 喜美枝 (社外取締役 味の素等) (C)

A: 医療に係る安全管理に関する識見を有する者

B: 法律に関する識見を有する者

C: 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者

監査内容:

1. 前回監査における指摘事項に関する改善点や変更点等について
 - ①前回監査で発表できなかった項目(医療安全啓発センター等)
 - ②前回監査での指摘事項に対する分析と課題(働き方改革等)
 - ③今後の取り組み
2. その他事項
 - (1) 病院機能評価受審時の医療安全にかかる指摘事項について
(令和6年4月25日~27日受審)
 - (2) 医薬品安全管理責任者業務状況と医薬品安全にかかる課題について
 - (3) レベル3b以上の事例に対しての院内調査ルートについて
(例として、診療を止める、手術を止めるまでのプロセス)
3. 前回以降に取り組みられた課題、その他(病院でのアピール点、取り組みなど)

監査委員による講評

1. 医療安全啓発センターの活動について、患者の視点に立つ、ステークホルダを考慮した安全・安心な医療の実践に取り組んで頂きたい。
2. 働き方改革は、育児中の女性職員が活躍できるように工夫されており、継続していただきたい。
3. どのような病院にするのか、その目的に沿った働き方改革の具体的目標を設定し、進めていただきたい。

4. 働き方改革を進めるにあたって、インシデントが増えないように患者協働の医療を推進していただきたい。
5. 医師の業務負担軽減のために、医師事務作業補助者、診療看護師、認定看護師、専門看護師の増員に取り組んでいただきたい
6. RRT (Rapid Response Team) は、患者を総合的に評価し、把握し、多職種の協力を得て進めて頂きたい。
7. 高難度新規医療技術の実施における丁寧なフォローアップ体制を継続していただきたい。
8. 東京女子医大の過去の2大医療事故をどのように乗り越えてきたか、その経験と工夫を、全国医療機関の参考になるようにまとめて頂き、将来の方向性・展望を示していただきたい。

以上